



電飾と郷土芸能を満喫

【沖縄】イルミネーションと共に沖縄の伝統芸能を。東南植物楽園(市知花)が土日限定の午後7～8時、屋外イベント「光の余響」を開いている。園内で開催中のイルミネーション「ひかりの散歩道」が織りなすきらびやかな光の下で、沖縄民謡や琉舞などを楽しめる。28日まで。

イベントは、文化庁の「博物館・文化財等におけるナイトタイム充実支援事業」の補助を活用。新型コロナウイルスの影響で、沖縄の伝統芸能を披露する場が減る中、文化を継承させる取り組みと電飾の下、華やかな琉舞や沖縄民謡などが繰り広げられた「光の余響」のステージは1月30日、沖縄市知花・東南植物楽園

東南植物楽園で催し28日まで

して、園が企画した。

1月30日には、県内で活躍する若手実演家らでつくる「琉球芸能うとういむち」が、華やかな「四つ竹」や軽快なリズムの「鳩間節」を披露。池原青年会による勇壮なエイサーも繰り広げられた。

うるま市から妻や娘2人と訪れた比嘉良太さん(29)は「久しぶりにエイサーを見られてうれしい。密にもなっていないので、安心して鑑賞できた」と話した。

出演した池原青年会の島田泰盛会長(24)は「エイサーを人前で披露したのは数カ月ぶり。鮮やかな光の中で踊るのは新鮮だった」と笑顔で語った。観覧無料(別途入園料あり)。問い合わせは同園、電話098(936)2525。